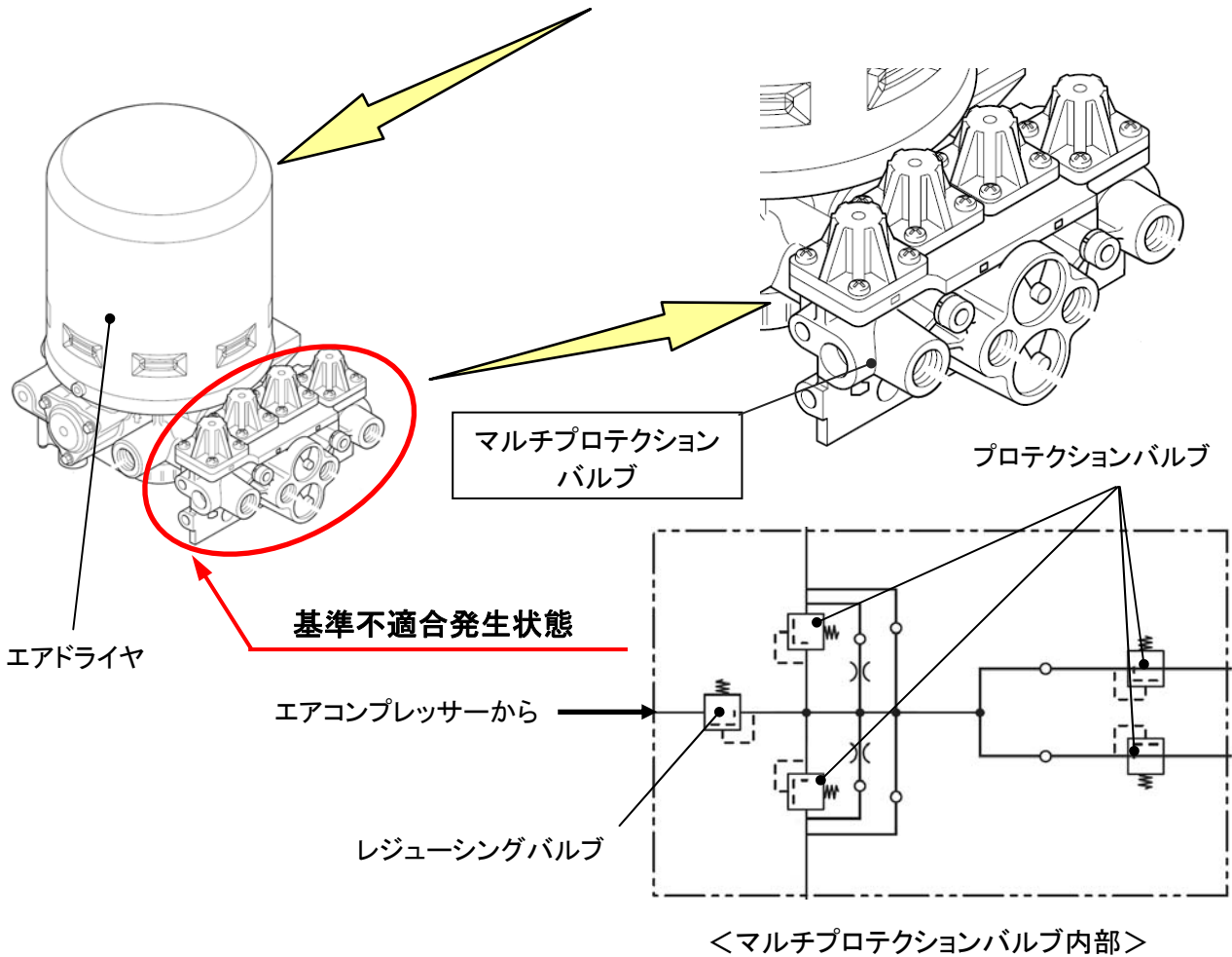


改善箇所説明図 ②



大型トラックのエアブレーキにおいて、マルチプロテクションバルブ（ブレーキのエアラインが失陥した際に失陥したエアライン以外の経路を遮断し他のエアラインのエア圧を確保するもの）内にあるレジャーシングバルブ（後2軸車に装着された4バックエアサスペンション用のエアタンクとブレーキのエアタンクの圧力を切り替えるための減圧弁）のゴム部材質が不適切なため、圧縮空気中に含まれる油分によってゴム部が劣化するものがある。そのため、エアラインの減圧不良が生じ高圧になることでASRバルブが誤作動し、ブレーキの引き摺りを起こすものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けるとブレーキが過熱し、最悪の場合、火災に至るおそれがある。

改善措置の内容

全車両、マルチプロテクションバルブを対策品に交換する。また、ブレーキ周りを点検し、引き摺りの発生が確認された場合には、異常が認められた部品を良品に交換する。

注： は、交換する部品を示す。

識別：作業完了車には、所定の位置に「HD172」の文字が記載された白黄色のシールを貼付ける。

トラック：助手席リヤドアピラー스트ライカー付近